

2025年3月4日

## 金融機関の営業店業務におけるペーパーレス化とDXを支援する スマートワークフローサービス「GOAT-Lab」の提供で中国銀行と協業 ～ どこでも業務ができる働きやすい職場や店舗軽量化を実現 ～

BIPROGYは、株式会社中国銀行（取締役頭取 加藤 貞則氏、以下 中国銀行）と、スマートワークフローサービス「GOAT-Lab（ゴートラボ）」の共同開発に関する協業を開始しました。

「GOAT-Lab」は、金融機関における窓口や渉外先での申込書のデジタル化を拡大し、受付後の事務ワークフロー化やオペレーションレスなど、受付から保管まで一連の業務のペーパーレス化とDXを支援するSaaS型サービスです。

本協業により両社は、中国銀行の業務改革やDXに関する知見やノウハウと、BIPROGYの金融機関向けソリューションの開発や提供実績を生かし、「GOAT-Lab」の共同開発およびサービス提供を行うことで、職員がどこでも業務ができる働きやすい職場づくりや店舗軽量化の実現を支援します。「GOAT-Lab」の提供は2025年度を予定しており、段階的に機能を拡張していきます。

### 【背景】

金融機関において、利用者のサービス品質向上やコスト削減の観点から、営業店の窓口や渉外先での主要業務を中心に、ペーパーレス化や事務作業の効率化に対する取り組みが進められています。一方、業務量が少なく種類の多い低頻度取引業務はシステム開発の投資効果を得にくいため、紙の申込書を用いたオペレーションや検印処理など、完全にデジタル化が実現できていない業務が数多く残っています。今後、生産年齢人口減少による人手不足や採用難、非対面取引の拡大、来店客数の減少といった事業環境変化の加速が予測される中、働きやすい職場づくりや店舗運営体制の見直しが必要となっています。

### 【協業の概要】

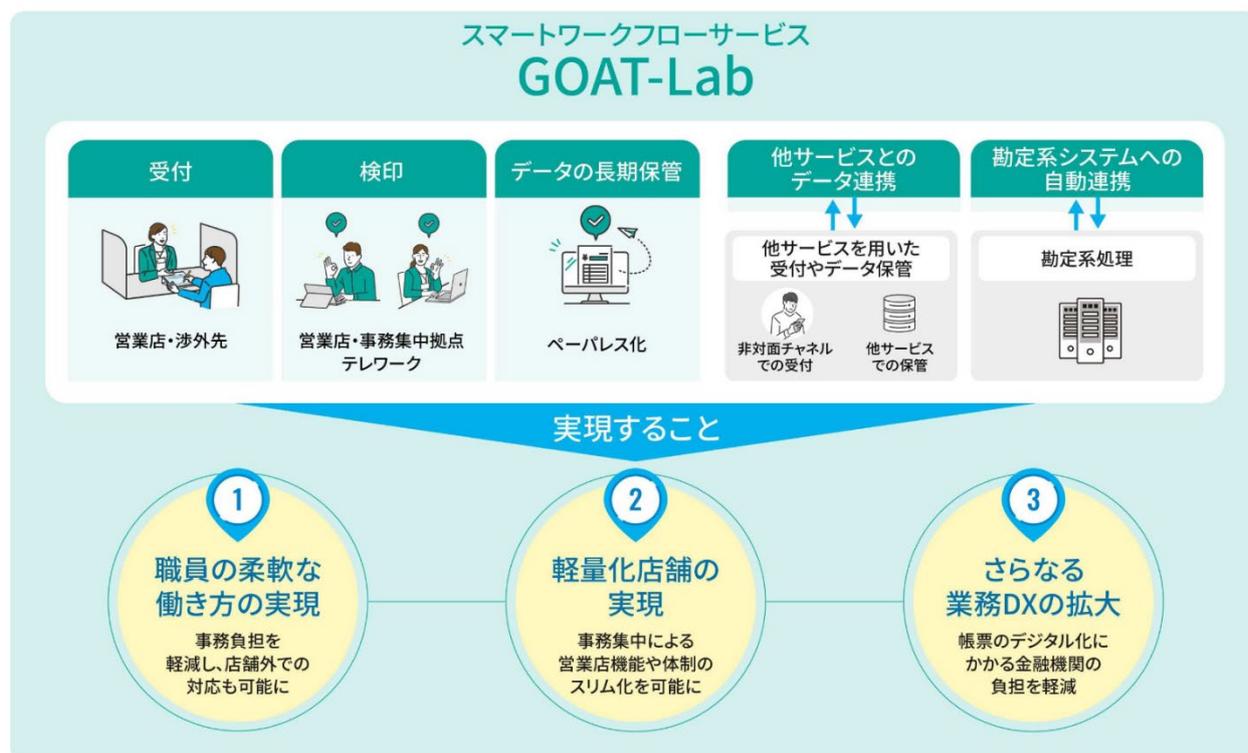
中国銀行では、2018年から営業店窓口業務支援システム「SmileBranch（スマイルブランチ）」を活用したペーパーレス化を推進し、事務作業の削減や営業力強化を実現しています。またBIPROGYは、金融機関に対し勘定系システムや、「SmileBranch」「COCOMFY（ココンフィ）」などの営業店支援システム、バンキングアプリ「#tsumuGO\_mobile（ツムゴウモバイル）」などを提供しており、大規模システム開発からクラウドサービス、SaaSまで幅広い開発実績があります。

今回の協業で、新サービス「GOAT-Lab」について、両社によるSaaS型サービスの共同開発に合意しました。BIPROGYは、中国銀行の業務改革やDXに関する知見やノウハウ提供のもと、サービス開発および提供を行っていきます。

### 【「GOAT-Lab」の概要】

「GOAT-Lab」は、ノーコードで申込書をデジタル化し、金融機関における利用者からの申込書の受付や検印に関する業務のDXを支援する機能をSaaS型サービスで提供します。利用者からの受付内容はすべてデジタルデータとして処理・保管し、オペレーションレスで勘定系処理まで完結することができます。ペーパーレス化により、業務効率化や生産性向上に加えて、本部組織での集中検印やテレワーク勤務者のリモート検印といった柔軟な働き方を可能とし、職員が働きやすい職場や店舗の軽量化の実現を支援します。

## ■ サービス概要図



以 上

## ■ 関連リンク：

スマートワークフローサービス「GOAT-Lab」

<https://www.biprogy.com/solution/service/goatlab.html>

BIPROGY 金融ソリューション <https://www.biprogy.com/solution/theme/fs.html>

※GOAT-Lab は、BIPROGY 株式会社の商標です。

※SmileBranch、COCOMFY、#tsumuGO\_mobile は、BIPROGY 株式会社の登録商標です。

※その他記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

※掲載の情報は、発表日現在のものです。その後予告なしに変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

<本ニュースリリースに関するお問い合わせ>

[https://www.biprogy.com/newsrelease\\_contact/](https://www.biprogy.com/newsrelease_contact/)

## BIPROGYグループの「経営方針（2024-2026）」

「持続性のある事業ポートフォリオ確立による企業価値の向上」、「経営資源配分の最適化」、「グループ経営基盤の強化」の3つの基本方針を軸に、「コア事業」と「成長事業」の両輪で事業拡大を図ります。



### 【コア事業での取り組み】

BIPROGY グループが経営方針（2024-2026）で掲げるコア事業戦略として、五つの注力領域を定め、経営資源の集中により高い価値提供を目指します。本ニュースリリースの事業は、「ファイナンシャル領域」における取り組みと位置付けています。

BIPROGY グループは、多くのステークホルダーとの共創を通じて、地域経済の活性化を支援し、持続可能な社会の実現を目指します。

※BIPROGY グループ経営方針（2024-2026）

<https://www.biprogy.com/pdf/com/managementpolicy2024-26.pdf>